



<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/hirosawa-s/>

3月臨時号
令和3年3月
京都市立広沢小学校
校長 小林 五月

TEL 881-4978 FAX 881-4947

広沢小学校では、毎年2回、保護者の皆様・児童・教職員による「学校評価アンケート」を実施しております。第2回(後期)学校評価の結果がまとまりましたので、報告させていただきます。

保護者の方には主にお子様の実現度を答えていただいています。また、児童は自分自身のふり返りを、教職員は自分自身がどれだけの指導をしているかのふり返りをしています。

今回は、アンケート結果を、「できている」(そう思う+大体そう思う)と、「できていない」(あまりそう思わない+そう思わない)にまとめて考えて、第1回目と第2回目のポイントの差を出してみました。すると、「思いや考えをノート等」に書いている」「食べ物の好き嫌いはない」では、保護者・児童とも第1回目よりポイントが増えています。「進んで読書をしている」「人をいじめたり、仲間はづれにしたりしないように行動する」「早寝・早起きをし、時間を意識して生活している」では、保護者・児童とも「できている」割合が減少しています。

全体を見ると、「できている」項目・「できていない」項目とも前回のアンケートとほぼ同じ結果となりました。

令和2年度 第2回 学校アンケート集計結果			保護者			児童		
質 問 項 目			実現度「そう思う」(%)			実現度「そう思う」(%)		
			第1回	第2回	差	第1回	第2回	差
学力	1	児童は、学校生活を楽しいと感じている	90	94	4	91	90	-1
学力	2	児童は、進んで学習に取り組む	79	80	1	91	90	-1
学力	3	児童は、テスト等の間違い直しをする	67	71	4	95	93	-2
学力	4	児童は、自分で学習準備ができる	87	87	0	96	95	-1
学力	5	児童は、学校の勉強がわかる	83	84	1	93	95	2
学力	6	児童は思いや考えをノート等」に書いている	66	72	6	88	89	1
学力	7	児童は、自分の考えをしっかりと話している	76	78	2	80	79	-1
学力	8	児童は、人の話をよく聞いている	83	84	1	97	94	-3
学力	9	児童はお子さんは、進んで読書をしていると思われますか	55	52	-3	84	82	-2
学力	10	児童は、進んで家庭学習(宿題)に取り組む	71	71	0	95	92	-3
学力	11	児童は、宿題以外の学習に取り組む	52	52	0	76	75	-1
心	1	児童は、約束やルールを守って行動できる	92	93	1	98	96	-2
心	2	児童は、思いやりのある言葉を使っている	86	85	-1	90	89	-1
心	3	児童は、自分から挨拶をしている	68	68	0	87	87	0
心	4	児童は、失敗をおそれずに最後まで挑戦している	62	65	3	90	90	0
体	1	児童は、いじめ・仲間はづれをしないように行動できている	99	98	-1	97	93	-4
体	2	児童は、早寝・早起きをし、時間を意識して生活している	68	63	-5	84	83	-1
体	3	児童は、ゲーム等の時間を決め進んで外遊びをしている	54	51	-3	74	78	4
体	4	児童は、食べ物の好き嫌いはない	67	72	5	83	87	4
体	5	「素足・はだし」の取組は、児童の健康な生活に効果がある	87	78	-9	88	94	6
他	1	学校だより等や、HPで学校の様子がよくわかる	92	92	0	95	95	0
他	2	学校は、地域の特色や人材を生かした取組を行っている	83	85	2			0
他	3	児童は、夢や希望をもって活動している	79	77	-2	89	88	-1
他	4	京都嵯峨学園の名称を、保護者や地域の方は知っている	63	67	4			0
他	5	京都嵯峨学園の教育活動の情報提供ができています	64	64	0			0
他	6	小中が連携して教育活動を取り組んでいる	71	68	-3			0

広沢校の課題としては、【学力6, 7, 9, 11】、【心3, 4】、【体2, 3】があげられます。

「確かな学力」について

【学力1学校は楽しい】では、保護者のポイントが4ポイント増加しています。9割以上の児童が楽しいと感じていることはとても素晴らしいと思います。10割を目指すため、これからも一人一人の子の様子にしっかりと目を向けていきたいと思います。【学力3間違い直し】では、児童は9割が「している」と答えています。保護者の3割は「できていない」と感じています。前回より4ポイント増加しています。間違い直しは、学力定着のためにも有効であり、理解を深めることができるようこれからも支援していきます。【学力6ノートに書く】については、保護者のポイントが6ポイント増加しています。学校では昨年度より、ノート検定を年2回実施しており、自分が考えたことや友達の発表で気付いたことなどを書くように指導しています。その成果が少しずつ表れてきたのではないかと思います。

「豊かな心」について

【心3挨拶】については、朝、校門などでは大きな声で挨拶できる児童は多くいます。しかし、それ以外の時間・場所では、なかなか自分から進んで挨拶できる児童が少ないのが現状です。また、挨拶をする子はする、しない子はしないという傾向も感じられます。いろいろな場所や時間にその場に応じた挨拶をみんなができるようこれからも支援していきたいと思います。【心4最後まで挑戦】については、保護者と児童の差が25ポイントあります。保護者の「子に対する期待値」が高すぎるのかもしれませんが、児童が「自分は頑張っている」と思っていることを見つけ、そこを褒めてさらに伸ばしていきたいものです。

「健やかな体」について

【体2時間の意識】では、児童で2割弱、保護者で3割強が「できていない」と感じています。睡眠時間をしっかりと取り、朝早く起きることは一日を元気に過ごすためにはとても重要なことです。起きる時刻を決めてから必要な睡眠時間を考えると、寝なければならない時刻が分かります。その時刻を目標に眠れるよう声かけをお願いします。【体3ゲーム、外遊び】では、児童の2割強、保護者の5割弱が「できていない」と感じています。ゲームについては、熱中するとあっという間に時間が過ぎてしまいます。タイマーをかけるなど何らかの方法で終了時刻を意識させるよう取り組みたいものです。この2項目については、学校が2ヶ月ほど休校になった影響がでているのかもしれませんが。一日の生活を見直し、正しい生活リズムを取り戻せるようお声掛けをお願いいたします。外遊びについては、学校では休み時間には外で元気に遊ぶ児童が多くいます。休み時間をしっかり確保し、体を動かす喜びをさらに感じさせたいと思います。

学校運営協議会よりご意見をいただきました

- 殆どの子ども達が、素直で明るく伸び伸びと生活しているように思われる。
- 保護者は全体的に低い評価をしているが、多少コロナ禍も影響しているのではないか。
- 例年同じですが、良いところを見つけて褒めて伸ばすことが必要だと思う。
- 集団登校時、高学年の子ども達はよく声を掛け合い、意思疎通が出来ていると思う。
- 保護者・教職員は、長いスパンでの平均的な傾向を評価するのに対し、児童は自身の直近での行動や感情に左右されやすいのだろうという点はまま自然であり、今後とも続いていくのだろうと思われる。
- すべての基本となる「あいさつ」がほぼ改善していないのは残念である。
- 「あいさつ」はまず大人がお手本になるようにしなくてはならないと思う。
- 平均的以上に良くやっていると思う。殆どの子が挨拶を返してくれるし、最近は低学年の子がこちらの顔を見るなり先に挨拶する。そんな場面が多くなっている。
- 「人をいじめたり仲間はづれにしない」はポイントが高いが、引き続き維持できるように指導をお願いしたい。
- 「ゲームやテレビの時間」では、コロナ禍ということもあり、保護者も対応に苦勞することが多いだろうと考える。
- 時間を考えて生活することは、保護者が時間を大切に思っ子どもに指導してほしい。
- 学校の教育活動に対して、地域が協力できるところは積極的にしていきたい。

お忙しい中、アンケートへのご協力、ありがとうございました。
今回の結果を真摯に受け止め、取組の充実や改善に努めていきたいと思います。
今後とも、広沢小教育にご理解・ご協力をお願いいたします。